



年明けから、新型コロナウイルス感染が急激に拡大し、佐賀県内の高等学校でも部活動を含む県内の交流自粛措置が発表されました。特に佐賀市や唐津市での感染状況が深刻です。校内での感染拡大を防ぐため、生徒のみなさんは、適切なマスク着用や昼食時の黙食、休み時間中の換気なども実践してくれています。

昨年末、感染状況が落ち着いていた時期に開催した学校行事など報告できていなかったもの、生徒のみなさんの頑張りを、何回かに分けて報告していきます。お楽しみに。

佐賀県立巖木高等学校 校長 坂本康晴

カレー会(アーチェリー部主催) 12月21日(火)



野球部も笑顔で！



カレーと野菜スープ
美味しそうですね！？



片づけも分担して！

年末の三者面談も3日目となった12月21日(火)。午前中の授業を終えたアーチェリー部の生徒諸君が、カレー会を主催してくれました。部員と顧問の先生たちが力を合わせ、心を込めて、7台の炊飯器でお米14kg(約7升)を炊き、大鍋でカレーと野菜スープを煮込んでくれました。顧問の小松先生からは「コロナの状況も比較的落ち着いているので、部員同士、そして他の運動部との交流・親睦のため企画させてもらいました。」との温かな言葉をもらいました。

野球部や書道部の生徒たちなど、日頃一緒に活動する機会がほとんどない生徒たちが楽しそうに、そして美味しそうに超大盛りカレーに挑戦している姿を見て、時節柄、マスクを外したて食べる時は静かに「黙食」でしたが、徐々にではありますが、このような光景が戻ってきてつつあるのかもしれないと嬉しく思いました。

食後、満幅のおなかを抱えながら生徒たちがみんなでも分担して、食器や鍋を洗ってくれました。きっと自宅でも同じように食事の後片付けなどの手伝いのできているのだらうと感心しました。

アーチェリー部の生徒のみなさん、そして顧問の先生方、少し早めの素敵なクリスマスプレゼントをありがとうございました。

※この原稿は、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いていた、年末の時点に書いたものです。その後、新型コロナウイルスの急激な感染拡大のため、修学旅行が中止となり、部活動の県内大会等も自粛になったのは大変残念です。特に修学旅行については、今後の新型コロナウイルス感染状況を見ながら、日程や方面を工夫してどうにか実施したいと考えています。

AED講習会

12月20日(月)

運動部活動の生徒たちと顧問が心臓マッサージ（胸骨圧迫）の正しい方法やAED使用法を学びました。最初は、動きがぎこちなかった生徒たちも、次第にきちんと体重を乗せてリズムよく押すことができるようになりました。胸骨圧迫を開始する前に、被救助者の意識（呼びかけに応答）と呼吸の有無（胸が膨らんでいるか）を確認することや血液には感染症の恐れがあるため直接触れないこと等の指導をいただきました。胸骨圧迫の際は、まっすぐ手のひらの付け根で5cm位、1分間に100～120回強く押すことも教えていただきました。



最初に、人形を使って心臓圧迫法のやり方を詳しく説明してもらいました。



次に、参加生徒全員が心臓圧迫法を実践しました。

しかし、胸骨を圧迫する動作は見た目以上に疲れる動作で、救急車あるいはAEDまたは協力者が到着するまで継続するのは大変だと実感しました。また、交代のタイミング、AEDの音声による指示に従って操作すれば良いとのことでしたが、落ち着いて行動できるかどうかが大変だと痛感しました。

今回の研修会の成果を発揮する機会がないことが一番ではありますが、万一の時、大切な誰かを救うために、大変重要で貴重なことを学習できました。



最後に、AEDの使用法を教わり、実践しました。音声に従って、落ち着いてできました。



巖木高校のAEDは、管理棟1階事務室前にあります。生徒の皆さんも、一度確認しておいて下さい。